



2023年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年11月7日

上場会社名 株式会社フルヤ金属 上場取引所 東
 コード番号 7826 URL <http://www.furuyametals.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 古屋 堯民
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 榊田 裕之 TEL 03-5977-3377
 四半期報告書提出予定日 2022年11月14日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年6月期第1四半期の連結業績（2022年7月1日～2022年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年6月期第1四半期	13,201	11.4	4,472	△5.6	4,575	△3.3	2,942	0.0
2022年6月期第1四半期	11,847	142.1	4,740	385.9	4,730	405.8	2,941	404.3

(注) 包括利益 2023年6月期第1四半期 2,958百万円 (0.3%) 2022年6月期第1四半期 2,950百万円 (409.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年6月期第1四半期	421.73	419.99
2022年6月期第1四半期	422.22	420.16

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年6月期第1四半期	76,960	37,878	48.9
2022年6月期	72,662	36,699	50.2

(参考) 自己資本 2023年6月期第1四半期 37,634百万円 2022年6月期 36,452百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年6月期	—	0.00	—	255.00	255.00
2023年6月期	—	—	—	—	—
2023年6月期（予想）	—	0.00	—	255.00	255.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年6月期の連結業績予想（2022年7月1日～2023年6月30日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	46,500	2.6	13,740	5.2	14,500	9.0	9,500	3.9	1,361.47

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年6月期1Q	7,265,212株	2022年6月期	7,265,212株
② 期末自己株式数	2023年6月期1Q	287,458株	2022年6月期	287,426株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年6月期1Q	6,977,771株	2022年6月期1Q	6,967,486株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間は、ウクライナ情勢の長期化に伴うエネルギー・資源価格の高騰、中国のロックダウン・活動制限に伴うサプライチェーンの混乱、インフレ抑止に向けた欧米における金融引き締め等、世界経済への影響が懸念される不透明な状況が続いております。加えて、国内においては急激な円安進行による輸入物価の上昇や、景気の下振れも注視される状況となっております。

このような経済環境の中ではありますが、当社が関連する情報通信市場、半導体市場、エレクトロニクス市場は、引続き堅調に推移しました。

なお、弊社が取扱う一部の貴金属価格はなだらかに下落しているものの依然高い水準にあり、当第1四半期連結累計期間における売上、利益に影響しております。

その結果、当第1四半期連結累計期間において、売上高13,201百万円（前年同四半期比11.4%増）、売上総利益5,266百万円（前年同四半期比3.5%減）、営業利益4,472百万円（前年同四半期比5.6%減）、経常利益4,575百万円（前年同四半期比3.3%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益2,942百万円（前年同四半期比0.0%増）となりました。

セグメント別の業績は以下のとおりであります。

①セグメント別の業績

[電子]

貴金属価格の高騰を受け、前期は国内の単結晶育成装置向けイリジウムルツボにおいてはリサイクル受注が中心となっていましたが、当第1四半期連結累計期間においてまとまった新規受注がありました。加えて、海外の医療用シンチレーター（放射線に当たると、蛍光を発生する物質）に使用される単結晶育成装置向けイリジウムルツボの受注、並びにガラス溶解装置向けプラチナ製品の受注が堅調に推移したことから、売上高2,238百万円（前年同四半期比83.0%増）、売上総利益957百万円（前年同四半期比178.0%増）となりました。

[薄膜]

データセンター用に使用されるHD向けターゲットの受注に加え、半導体向けターゲットの受注が堅調に推移しましたが、製品の受注に紐付く貴金属原材料販売の利益減少もあり、売上高3,158百万円（前年同四半期比5.4%増）、売上総利益1,425百万円（前年同四半期比10.1%減）となりました。

[サーマル]

引続き半導体需要は旺盛であり、半導体製造装置メーカーや海外半導体メーカーからの受注が好調に推移しました。旺盛な需要に対応するため増産体制を継続すると共に、高付加価値品の取込みを増やしていることで、売上高1,515百万円（前年同四半期比13.6%増）、売上総利益454百万円（前年同四半期比6.3%増）となりました。

[ケミカル]

精製・回収（リサイクル）、化学プラント向け触媒、有機EL向け化合物、電極向け貴金属化合物いずれの受注も好調に推移しました。一方で、製品の受注に紐付く貴金属原材料販売の利益減少もあり、売上高6,219百万円（前年同四半期比8.1%増）、売上総利益2,396百万円（前年同四半期比13.1%減）となりました。

[その他]

当社製品の受注に紐付かない貴金属原材料の受注が減少したことにより、売上高68百万円（前年同四半期比87.2%減）、売上総利益31百万円（前年同四半期比90.9%減）となりました。

②海外売上

当第1四半期連結累計期間における海外売上高は6,624百万円（総売上高に占める割合は50.2%）となりました。地域別には北米向け売上高2,389百万円（海外売上高に占める割合は36.1%）、欧州向け売上高2,255百万円（海外売上高に占める割合は34.0%）、アジア向け売上高1,979百万円（海外売上高に占める割合は29.9%）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は76,960百万円（前連結会計年度末比4,298百万円の増加）、負債は39,081百万円（前連結会計年度末比3,119百万円の増加）、純資産は37,878百万円（前連結会計年度末比1,179百万円の増加）となりました。

①流動資産

当第1四半期連結会計期間末における流動資産残高は58,383百万円となり、前連結会計年度末比5,104百万円増加しました。これは現金及び預金が670百万円減少しましたが、棚卸資産が5,361百万円、未収消費税等が601百万円それぞれ増加したことが主な要因であります。

②固定資産

当第1四半期連結会計期間末における固定資産残高は18,577百万円となり、前連結会計年度末比806百万円減少しました。これは機械装置及び運搬具が849百万円減少したことが主な要因であります。

③流動負債

当第1四半期連結会計期間末における流動負債残高は32,233百万円となり、前連結会計年度末比3,748百万円増加しました。これは未払法人税等が733百万円減少しましたが、短期借入金が4,500百万円増加したことが主な要因であります。

④固定負債

当第1四半期連結会計期間末における固定負債残高は6,848百万円となり、前連結会計年度末比629百万円減少しました。これは長期借入金が642百万円減少したことが主な要因であります。

⑤純資産

当第1四半期連結会計期間末における純資産残高は37,878百万円となり、前連結会計年度末比1,179百万円増加しました。これは利益剰余金が1,163百万円増加したことが主な要因であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、2022年8月8日付「2022年6月期決算短信〔日本基準〕(連結)」で発表しております計画から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,859	3,189
売掛金	5,157	5,296
受取手形	160	117
商品及び製品	1,828	1,553
仕掛品	4,607	5,243
原材料及び貯蔵品	34,880	39,881
未収消費税等	1,670	2,272
デリバティブ債権	929	650
その他	182	178
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	53,278	58,383
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物 (純額)	3,845	3,824
機械装置及び運搬具 (純額)	10,081	9,231
土地	1,727	1,727
リース資産 (純額)	63	57
建設仮勘定	1,588	1,540
その他 (純額)	96	95
有形固定資産合計	17,402	16,477
無形固定資産		
ソフトウェア仮勘定	289	411
その他	64	59
無形固定資産合計	354	470
投資その他の資産		
投資有価証券	18	19
繰延税金資産	1,409	1,409
その他	199	201
貸倒引当金	△1	△1
投資その他の資産合計	1,626	1,629
固定資産合計	19,383	18,577
資産合計	72,662	76,960

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,359	11,540
未払金	2,318	2,685
短期借入金	8,200	12,700
1年内返済予定の長期借入金	2,764	2,719
未払法人税等	2,463	1,729
賞与引当金	345	166
役員賞与引当金	138	—
設備関係未払金	199	72
その他	696	619
流動負債合計	28,485	32,233
固定負債		
長期借入金	6,224	5,582
退職給付に係る負債	779	798
資産除去債務	26	26
長期未払金	401	401
その他	45	39
固定負債合計	7,477	6,848
負債合計	35,962	39,081
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,445	5,445
資本剰余金	7,056	7,056
利益剰余金	25,268	26,432
自己株式	△1,363	△1,363
株主資本合計	36,407	37,570
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1	2
為替換算調整勘定	59	76
退職給付に係る調整累計額	△16	△14
その他の包括利益累計額合計	44	63
新株予約権	83	83
非支配株主持分	163	161
純資産合計	36,699	37,878
負債純資産合計	72,662	76,960

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年7月1日 至 2021年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年9月30日)
売上高	11,847	13,201
売上原価	6,388	7,935
売上総利益	5,458	5,266
販売費及び一般管理費	718	793
営業利益	4,740	4,472
営業外収益		
受取家賃	3	3
為替差益	—	451
デリバティブ評価益	44	—
その他	2	1
営業外収益合計	50	456
営業外費用		
支払利息	16	72
為替差損	42	—
デリバティブ評価損	—	279
その他	1	2
営業外費用合計	60	353
経常利益	4,730	4,575
税金等調整前四半期純利益	4,730	4,575
法人税、住民税及び事業税	1,716	1,636
法人税等調整額	75	△1
法人税等合計	1,792	1,635
四半期純利益	2,938	2,939
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△3	△2
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,941	2,942

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年7月1日 至 2021年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	2,938	2,939
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	0	0
為替換算調整勘定	△0	16
退職給付に係る調整額	12	1
その他の包括利益合計	11	18
四半期包括利益	2,950	2,958
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,953	2,961
非支配株主に係る四半期包括利益	△3	△2

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(棚卸資産と固定資産間の振替)

当社グループは、保有する貴金属資産の利用実態を見直しし、保有目的の変更により、棚卸資産と有形固定資産の間で振替えを実施しております。

当第1四半期連結累計期間において、保有目的の変更により、有形固定資産の一部を棚卸資産に、また棚卸資産の一部を有形固定資産に振替えております。これにより「原材料及び貯蔵品」が940百万円増加し、「機械装置及び運搬具」が909百万円、「商品及び製品」が30百万円それぞれ減少しております。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年7月1日 至 2021年9月30日)	前連結会計年度 (自 2021年7月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年9月30日)
	増減額 (百万円)	増減額 (百万円)	増減額 (百万円)
商品及び製品	—	△478	△30
原材料及び貯蔵品	—	△4,090	940
仕掛品	—	115	—
機械装置及び運搬具	—	4,617	△909
建設仮勘定	—	△164	—

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間 (自 2021年7月1日 至 2021年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注1)	合計 (注2)
	電子	薄膜	サーマル	ケミカル	計		
売上高							
日本	1,012	658	848	2,200	4,721	132	4,853
アジア(日本以外)	25	2,046	402	35	2,509	317	2,827
欧州	1	162	29	2,716	2,910	88	2,998
北米	183	128	53	802	1,167	—	1,167
顧客との契約から生じる収益	1,223	2,995	1,334	5,754	11,308	538	11,847
外部顧客への売上高	1,223	2,995	1,334	5,754	11,308	538	11,847
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	1,223	2,995	1,334	5,754	11,308	538	11,847
セグメント利益	344	1,586	427	2,759	5,117	341	5,458

(注1) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、仕入製品や当社製品に紐付かない貴金属原材料の販売等であります。

(注2)セグメント利益の合計額は、連結損益計算書の売上総利益と一致しております。

II 当第1四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注1)	合計 (注2)
	電子	薄膜	サーマル	ケミカル	計		
売上高							
日本	1,536	848	1,082	3,041	6,508	68	6,577
アジア(日本以外)	21	1,530	378	49	1,979	—	1,979
欧州	—	72	17	2,166	2,255	—	2,255
北米	681	707	37	963	2,389	—	2,389
顧客との契約から生じる収益	2,238	3,158	1,515	6,219	13,132	68	13,201
外部顧客への売上高	2,238	3,158	1,515	6,219	13,132	68	13,201
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	2,238	3,158	1,515	6,219	13,132	68	13,201
セグメント利益	957	1,425	454	2,396	5,234	31	5,266

(注1) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、仕入製品や当社製品に紐付かない貴金属原材料の販売等であります。

(注2)セグメント利益の合計額は、連結損益計算書の売上総利益と一致しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。